

税務調査

法的知識学び毅然と対応を

最近の税務調査の傾向を解説

経税部

協会経税部は、「ど」と来い税務署 最近の税務調査の動向と傾向」をテーマに講演会を医科協会と共催で8月28日に開き、24人が参加した。講師の正田英司氏(顧問税理士団、税理士法人京阪総合会計事務所)は、最近では本人の承諾を得ずに銀行や百貨店、スーパーにまで半面調査をする傾向があると説明。注意喚起するとともに、法的知識を学び、毅然と対応することが重要と強調した。

法の成り立ちからいって、納税の義務は国民が課せられているのではなく、国民が自ら宣言したものであり、密接に係わる税法上の質問検査権は、「犯罪捜査のために認められたものと解してはならない」と所得税法に規定されている。書

類の持ち帰りやコピーは、質問検査権を逸脱した行為③調査日程の変更

権がある——など、納税者の権利を解説した。正田氏は、近年の特徴として、税務行政の指針である「税務運営方針」を税務署職員が携帯しなくなっていると語り、質問検査権や納税者の自主申告制度について把握し

ていない職員が増加していると指摘。実際にあつた事例として、身に覚えのない預金を指摘されたが、同姓同名の別人が高額預金をしたことが判明し、調査が打ち切りとなった事件まで起きていることを紹介した。

福池氏は、スクレーラーとストーンの特徴や研ぐ角度・箇所、動かし方などのポイントやスクレーリングの基本について解説した。正しいスクレーリング・シャープニングは、患者の歯肉を傷つけないこと、痛みを与えないことに繋がるなど重要性を説明した。

参加者からは、「シャープニングの正しい角度がわかった」「学校では実習があまりなかったのが、個別でスクレーラーの把持の仕方を正してもらえてよかった」などの感想が寄せられ、好評だった。

協会の経税部は、「ど」と来い税務署 最近の税務調査の動向と傾向」をテーマに講演会を医科協会と共催で8月28日に開き、24人が参加した。講師の正田英司氏(顧問税理士団、税理士法人京阪総合会計事務所)は、最近では本人の承諾を得ずに銀行や百貨店、スーパーにまで半面調査をする傾向があると説明。注意喚起するとともに、法的知識を学び、毅然と対応することが重要と強調した。



「税務調査での書類の持ち帰りやコピーは、税法上の質問検査権を逸脱した行為」と説明する正田氏=8月28日、保険医会館



スクレーラーの正しい動かし方を練習する参加者=8月29日、保険医会館

スクレーリングセミナー開く  
把持や動作のコツ習得

歯科臨床・学術学会部  
歯科学術学会部

は、同部の福池久恵氏ら歯科衛生士3人が務めた。

参加者には日常診療での疑問や不安について、各自が普段から使用しているスクレーラーとストーンを用いて、一つひとつ丁寧な解説があった。

また、事前にマニキュアを塗った顎模型を用いて、スクレーラーの正しい動かし方を理解し、コツを習得できる実習となった。

参加者からは、「シャープニングの正しい角度がわかった」「学校では実習があまりなかったのが、個別でスクレーラーの把持の仕方を正してもらえてよかった」などの感想が寄せられ、好評だった。

参加者からは、「シャープニングの正しい角度がわかった」「学校では実習があまりなかったのが、個別でスクレーラーの把持の仕方を正してもらえてよかった」などの感想が寄せられ、好評だった。

選挙後の情勢と運動のポイント

⑤



今回の選挙では民主、自民の両党がいずれも消費税増税を公約に掲げ、最大の争点となった。結果は両党ともに票を大幅に減らしたことから明らかのように、消費税増税に反対の民意が示さ

れた。しかし、選挙後も菅首相は財界やマスコミの後押しもあって、法人税率引き下げと消費税率の引き上げを公言している。

消費税率は非課税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

今回の選挙では民主、自民の両党がいずれも消費税増税を公約に掲げ、最大の争点となった。結果は両党ともに票を大幅に減らしたことから明らかのように、消費税増税に反対の民意が示さ

れた。しかし、選挙後も菅首相は財界やマスコミの後押しもあって、法人税率引き下げと消費税率の引き上げを公言している。

消費税率は非課税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

税とされている公的医療保険中心の歯科医療機関にとって、患者に消費税を転嫁できず、材料等の仕入れの購入に含まれる消費税は医院の持ち出し(損税)になっている。

消費税率の引き上げはこれまで以上に多額の損税を生む。

2007年医療経済実態調査データをもとに試算すると、自費診療所得1000万円未満の消費

税を完全解消するために、消費税率を廃止することが最も好ましいのだが、当面は現状の非課税扱いを免税に変更し、仕入れにかかった消費税を還付する「ゼロ税率」を

ロベースから見直し」と明記された、保険診療所得に係る概算経費率(4段階税率)と事業税非課税措置廃止の問題だ。

民主党政権は、医療に係る措置法案と事業税

QL高める訪問歯科

北河内地区は7月31日、吉田春陽氏(守口市開業)を招き、講習会を主催するのQLと訪問口

腔ケアをOMMビルで開き、歯科医師ら50人が参加した。

吉田氏は、治療は成功しても、治療に伴って生じた障害(運動、視力、食事、排泄)で、患者が理想とする生き方ができなくなっていると指摘し、ケアの重要性を強調した。

QL高める訪問歯科  
北河内地区は7月31日、吉田春陽氏(守口市開業)を招き、講習会を主催するのQLと訪問口

腔ケアをOMMビルで開き、歯科医師ら50人が参加した。

吉田氏は、治療は成功しても、治療に伴って生じた障害(運動、視力、食事、排泄)で、患者が理想とする生き方ができなくなっていると指摘し、ケアの重要性を強調した。

「洗練された接遇・マナー」講座を5日、OMMビル(天満橋)で開き、歯科医師・スタッフら19人が参加した。講師は西出知子氏(接遇インストラクター)。

歯科医療の価値を高めるために、これから求められる役割

# デンタルコーディネーター

# 大阪ベーシックコース

歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、歯科助手、受付 どなたでもご参加いただけます。

日時 ◆10月2日(土)13:00~18:00 食事会 18:30~20:30 ◆10月3日(日)10:00~16:00

※参加費、開催場所などのお問い合わせは…☎06-4807-6866 (株)ハーモニックまで。

参加者の満足度 **99%**

満足 87%  
やや満足 12%  
やや不満 1%

検索